平福地域づくりセンターだより

No.12
2010/8/5発行
平福地域づくり協議会
広報委員会

県民交流広場事業　佐用町地域福祉センター（平福地域づくりセンター）
改築竣工式開催される

かねてより進めて参りました、地域福祉センター一部改築工事の完了、事業に伴う設備・機器調達がほぼ達成できましたので(事業内容、経過報告については、各集落回覧周知、又「平福地域づくりセンターだより」10号21年7月号、11号22年2月号でお知らせしています)、去る7月24日(土)午前10時より「平福地域づくりセンター」において、竣工お披露目式を開催しました。

当日は西播磨県民局県民室長をはじめ、佐用町長、県会議員、社会福祉協議会長、等、来賓18名の出席を賜わり、又、地元協議会のメンバー20名、ボランティアグループふれあい喫茶10名の方の応援を受け、盛大に開催することができました。

長期にわたり進めて参りました改築工事が完了しましたので、「8月1日より使用開始」とします。利用会議室は1階玄関右手の一室です。使用希望の方は、福祉センター社協窓口に申込み下さい。

利用時間は全日(曜日問わず)午前9時～午後10時とし、利用時の建物の開閉については「カードキー」によって(1階正面玄関左の新設ドア)、利用責任者の管理使用とします。

「カードキー保管者は、協議会長眞島太司、センター長大谷和廣の2名」としますので、施設利用の問い合わせについて電話下さい。地域住民の皆様が自由に使用できる会議場、展示場、平福地域づくり協議会が取り組んでいる生涯学習事業、平福の地域性を活かした総合活動に利活用して頂きますようお知らせし、その広域のご使用を期待しております。

新任のあいさつ

協議会長　眞島太司

梅雨もあがり、昨年の台風雨が頭から離れない今日この頃、1年前が早くきました。今回の新任、自信がありませんが、現在、自治会長さんの方が、私が出来ない事を気持ちよく協力してくださるので喜んでいます。

今年度は行事も増え、各部会で行事の見直しや協議の構成等の見直し等も積極的に行い、地域の皆様の日頃の生活や将来に役立つようにしたいと思っております。

平福地域の皆様の応援を宜しくお願いいたします。

運営委員長・センター長　大谷和廣

洪水による水害の心配をした梅雨も明け夏本番。地域の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年度、平福地域づくり協議会の運営委員長ならびにセンター長という大役をお受けすることになりました。

前役員の(故)俊藤春夫センター長、井上薫協議会長、安藤忍運営委員長のご尽力に対し、厚くお礼を申し上げると共に、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

この度お受けした役は、何分初めての経験で、皆様には大変ご迷惑なりお叱りを受けることも多々あると思いますが、ご支援ご協力をお願い致します。地域づくり協議会も、早いもので発足して今年で6年目ですが、当年度の事業、行事を推進するため三部会を軸として、地域の皆さん共々、人づくり、地域づくりをするなかで、安全で安心な町づくりを共に考え守り育てていきたいと思っています。

特に、昨年8月の豪雨による災害以降、地域の住民として、防災面についても地域の皆さんと共に防災マップづくりの推進に微力ではありますが、力を注ぎたく思いますので、今後とも地域の皆様方の積極的な参加とご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

退任のあいさつ

旧協議会長・センター長　井上薫

晴れの日が続いたと思ったら、激しい雨、天気の気まぐれ、――終盤不安の中の雷雨や豪雨で梅雨明け、その後炎天猛暑が続いていますが、地域の皆様にはご健勝で日々お過ごしのことと思います。

慌しい、そして歴史に残る、平成21年度が通り過ぎていきました。

平福地域づくり協議会活動も、年度当初は計画に沿って進んでいましたが、「8月9日の県西北部豪雨」によって全ての生活が狂ってしまいました。悪夢の連続でした。これにより協議会活動を中断、そして新年より活動を再開し、開通前の姫鳥線新春歩こう会、活気づけの町づくり智頭町視察研修、これも中断していた「県民交流広場事業」の再開、21回宿場町ひらふくまつり開催で、年度越しとなりました。

振り返ってみますと本当に異様な一年でしたが、多くの皆様のご協力ご支援によって今日を迎えることができました、有難うございました。

復興事業の推進と、少しでも明日の平福発展を祈念いたします。

年間主要行事予定一覧 (変更する場合があります)

月	主要行事予定	実施予定日
7月	平福地域ふれあい・いきいき教室 りかんふれあいキャンプ 県民交流広場事業 お披露目	12日(月) 17日(土)～18日(日) 24日(土)
8月	センターだより第12号発行 高年大学出前講座・地域文化講座 佐用町感謝のつどい 午前中平福 納涼大会協賛	5日(木) 上旬 29日(日) 各集落取組
9月	人権学習会	各集落取組
10月	ふれあい体育祭	17日(日)
11月	陶芸教室 センターだより第13号発行 スポーツクラブ21りかん支部交流大会	7日(日) 上旬 23日(祝)
12月	しめ縄作り講習会	19日(日)
1月	新春歩こう会 地域づくり講演会・文化講座	9日(日) 下旬
2月	センターだより第14号発行 地域づくり実行委員会視察研修	上旬 13日(日)
3月		
4月	宿場町ひらふくまつり	10日(日)

りかんふれあいキャンプ

利神小学校区4協議会が、共同で開催する「りかんふれあいキャンプ」が、7月17日(土)18日(日)の2日間行われました。今年で2回目となるキャンプは、平福地区が当番を務め、眞島協議会長を主軸に打ち合わせ、また準備を進めて下さり、天気もよし、事故も無し、大成功の中、終了することができました。

スタッフとして参加してくださった皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

参加してくれた76名の子供たちも、20日の終業式に顔を合わせ、キャンプでの出来事やキャンプファイアーで盛り上がった歌を何人かで歌ったりと、それぞれの胸の中に思い出として残してくれたようです。また、次回開催を早くも心待ちにしてくれているようです。

4協議会が一体となる画期的活動であり、今後も協働のまちづくりのきっかけになる事を祈り、明るく元気いっぱいの利神小学校児童の育成を考えていきたいと思います。

（中野 直樹）

第30回 延吉ふれあい祭り

7月4日(日)延吉倶楽部にて、延吉地区恒例の延吉ふれあい祭りが開催されました。当日は梅雨の最中ではありましたが、天候に恵まれ子供からお年寄りまで70名程の方が参加しました。

ふれあい祭りの催し物はおもにカラオケ大会、最後におたのしみ抽選会となります。

カラオケ大会は多数のエントリーがあり、多くの方が歌声を披露しました。昔なつかしい曲から最近の曲まで、歌っていない方もいっしょに歌を口ずさんでおられました。

また、今年は30回という節目の年で、30年前にふれあい祭りを初めて開催された方が紹介され、当時の苦労を思い出し涙される場面もありました。

そして、最後におたのしみ抽選会があり、豪華商品の抽選に皆さん一喜一憂し、最後まで楽しみました。

（山本 邦彦）

雨の中の 宿場町ひらふくまつり

4月11日早朝午前3時、小雨が降りだした。午前5時、雨、小康状態。6時半、本降りとなる。電話ジャンジャン、戦闘開始となる。午前7時、メイン会場、平福体育館、地域福祉センターに変更。バザー関係、予定通り平福駅前開催を決定。

第21回「宿場町ひらふくまつり」が雨の中始まった。大混雑とはこのことか。実行委員会メンバーの団結と地域の皆さんの支えを頂いて、混雑の中にも、イベントについての少々の変更もしながら、予定を消化することができました。本当にご苦労さんでした。

体育館大名行列、開会セレモニー、「宿場町平福」新曲披露、佐用中吹奏楽、赤穂演芸サークル「東友会」、たつの甲冑グループ、伊勢大神楽、お楽しみ抽選会、と進めることができました。駅前バザーは不調のようでしたが、ご協力に感謝いたします。体育館のムードは例年になく「広域ふれあい交流」の輪が広がったと感じました。

本年の演芸構成・準備については「昨年の災害支援ボランティア精神」によって、広く、多くの方々にお世話になりました。有難うございました。

来年は晴天に恵まれ、盛大に催すことができますよう、楽しみにしています。

-編集後記-

「継続は力なり」とはよく言ったもので、そんなに長くもないこれまでの人生を振り返っても、あぁなるほどと思わせてくれる事例は意外と多いような気がします(失敗も含めて)。そして、たとえ何をするにしても、そこに「楽しい」と思える要素をほんの僅かでも見出せたかどうかが、「継続」を実現できたかどうかの分岐点じゃなかったかと思うのです。継続が重要なことは判っちゃいるけど、精神修行の様相じゃちょっとね、と。(バブル全盛＆少子化時代を生きた人間の甘えでしょうか?)

県民交流広場事業の備品としてパソコンを購入しました。レンズ交換できるデジタルカメラや、ハイビジョン撮影できるビデオカメラも。これらを使って、広報活動はこれからインターネットの世界にその範囲を広げようとしています。ホームページを立ち上げて、平福の情報を全世界(?)に向けて発信しよう!と。ただし、百花繚乱の個人ブログがそうであるように、これこそが「継続は力」で且つ「継続がとても難しい」その代表格のようなものでしょう。たとえ細々でもずっと続けていけるよう、そこに自分たちなりの楽しみを見つけていければいいな、と考えています。

（大嶋 啓靖）

広報委員会
委員 長井上 薫
副委員長　大嶋 啓靖
編集委員　盛崎 一夫
編集委員　衣笠 浩
編集委員　山本 邦彦